

平成31年第1回定例市議会

行政報告

北海道恵庭市

第1回定例会が開催されるに当たりまして、第4回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

恵庭市災害対策
本部訓練について

はじめに、恵庭市災害対策本部訓練について申し上げます。

2月6日に各災害対策部や班の災害対応など、職員の災害対応能力の向上を目的に、暴風雪災害を想定した災害対策本部訓練を実施いたしました。

訓練内容としては、停電や避難所開設など昨年9月の災害対応を踏まえた状況も盛り込んだ内容とし、ロールプレイング方式による実践的な訓練を行いました。職員83名のほか、北海道や警察、陸上自衛隊など16名の関係機関にもご協力いただき、全体で99名の参加により実施しました。

引き続き、防災訓練等を通して災害対応能力の向上に努めて参ります。

恵庭市防災会議及
び恵庭市国民保護
協議会の開催につ
いて

次に、恵庭市防災会議及び恵庭市国民保護協議会の開催について申し上げます。

2月13日に恵庭市防災会議及び恵庭市国民保護協議会を開催し、防災会議におきましては要支援者対策における自主防災組織や町内会の協力による対応をはじめ、初動対応に必要なマニュアルや資機材整備の項目など、昨年の災害対応の教訓を反映し、地域防災計画の修正を行ったところであります。

また、国民保護協議会におきましては、国や北海道の計画との整合性を図るとともに、防災関係機関との一層の連携強化と共通認識を図るため、意見交換及び情報共有を行ったところであります。

今後においても、引き続き必要に応じて計画の見直しや関係機関との連携など、体制の強化に努めて参ります。

「防衛計画の大綱
及び中期防衛力整
備計画」について

次に、「防衛計画の大綱及び中期防衛力整備計画」について申し上げます。

昨年12月に新たな「防衛計画の大綱及び中期防衛力整備計画」が閣議決定されたところではありますが、その改訂において北海道の自衛隊の部隊が削減・縮小とならないよう、北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会の副会長として、昨年11月30日と12月4日に防衛省に対し、緊急に北海道の自衛隊の体制維持を強く求める要望活動を行ったところであります。

新たな防衛大綱等では、地域コミュニティとの連携の重要性や、地元経済への配慮など、地域に及ぼす影響や実情に十分配慮されるとともに、北海道における良好な訓練環境も高く評価された内容となっており、これまでの市議会を含めた私共の運動が認められたものと考えています。

今後も自衛隊の体制維持・強化や、自衛隊の定員充足率の向上を求める活動を引き続き行って参ります。

まちづくり拠点
整備事業について

次に、まちづくり拠点整備事業について申し上げます。

まずはじめに南島松地区住宅団地「スマートタウン・ふれる恵み野」についてであります。昨年10月末に造成工事が終了し販売を開始いたしました。本年1月末現在、55区画中36区画が既に契約済みとなっており、販売が好調と伺っております。

次に、花の拠点整備事業についてであります。農畜産物直売所の新築及び道と川の駅、センターハウスの改修に係る財源として、国の地方創生拠点整備交付金を活用するため、本年1月に実施計画書を提出したところであります。また、事業用地取得に係る各種手続と、公園の実施設計については3月中に完了する予定であります。

次に、昨年オープンしました公民複合施設「えにあす」についてで

ありますが、オープン当初から多くの皆様にご利用いただいております、本年2月時点で当初目標の40万人を達成したところであります。

今後も、引き続き民間事業者との連携を深め、市民利用の拡大を図り恵庭駅周辺の賑わい創出に向け取り組んで参ります。

次に、戸磯南工業団地整備についてであります。昨年10月末に市街化区域編入後、土地区画整理事業の認可手続が終了し、1月10日に事業認可、2月5日に土地区画整理組合が設立されました。

現在、土地区画整理組合では、本年度の造成工事着手に向け、設計や諸手続を進めており、本市といたしましても事業の推進に向けた取組を進めているところであります。

次に、市営住宅柏陽・恵央団地建替事業についてであります。入居者説明会や2次アンケート調査を実施するとともに、民間活力導入のために再度のサウンディング調査を実施したほか、余剰地の活用や複合施設への導入機能について、地域の意見を聞く場として地区懇談会を開催しております。また、小中学校でのグループワークを開催するなど、広く地域の意見を取り入れた基本計画の素案を作成したところであります。

今後も早期の着手に向けた作業と事業の推進に努めて参ります。

地域公共交通(エコバス)について

次に、地域公共交通(エコバス)について申し上げます。

本市の地域公共交通につきましては、本年度、エコバスの運行について路線・ダイヤ改編に伴う実証運行を実施するとともに、利用者及び運行対象地域住民に対するアンケート調査を行い、実証運行に対する検証を行ったところであります。その結果、いずれの調査におきましてもエコバスの運行に関して「良くなった」との評価が多かったところであります。

一方で、アンケート調査から運行に関する課題が一部見つかったこと

から、エコバスの利便性向上策として「乗り継ぎ券」や「バス停の増設」、「スマホ定期券」の導入などの検討を行い、恵庭市地域公共交通活性化協議会へ提案し承認を受けたことから、これらの改善策を導入し本年4月から本格運行をスタートする予定であります。

特定非営利活動
法人恵庭市市民
活動センター運営
協議会の設立に
ついて

次に、特定非営利活動法人恵庭市市民活動センター運営協議会の設立について申し上げます。

恵庭市市民活動センター運営協議会は、昨年9月13日に特定非営利活動法人化のための設立総会を開催し、その後、認証取得申請等所要の手続きを経て、昨年12月10日付けで特定非営利活動法人となりました。

特定非営利活動法人としての実質的な事業活動は、平成31年度からになりますが、恵庭市との協働体制を取りながらも、人的、財政的には独立した形態をとることになることから、社会的信用性の確立や知名度のアップに繋がるよう、本市におきましても支援していくこととしております。

恵庭市手話言語
条例について

次に、恵庭市手話言語条例について申し上げます。

本市では、手話言語条例制定に向けた協議・検討の場として、昨年5月に恵庭市障がい者地域自立支援協議会において「手話言語条例制定検討プロジェクト」を設置し、協議を進めていただきました。

そこでは、手話言語条例の必要性を確認するとともに、条例の構成・文言などについて熱心な議論が交わされ、本年2月12日に「手話言語条例の制定に向けた提言書」を受けたところであります。

今後、この提言書を踏まえ恵庭市手話言語条例の制定に向けて取り組んで参ります。

市民スキー場の

次に、市民スキー場のリニューアルオープンについて申し上げます。

リニューアルオープンについて

昨年5月より着手しておりました市民スキー場のリフト設備及びゲレンデの一部造成などの施設の整備工事が、12月で全て完了し、同月25日に来賓やスキー関係団体によりオープンセレモニーが開催されました。

また、1月12日の「スキーの日」に合わせて、市とスキー関係団体の共催によるオープニングイベントを開催し、多くの市民が集まる中、デモンストレーション滑走や餅まきなど様々な催しを行い、来場者の皆様に楽しんでいただいたところであります。

来場者数も一昨年に比べ大きく増加しており、今後も冬季スポーツの拠点施設として、市内外を問わず、子どもから大人まで多くの方がスキーやスノーボードに親しめる魅力あるスキー場となるよう、スキー関係団体と連携を図りながら運営して参ります。

起業支援について

次に、起業支援について申し上げます。

起業を希望している市民が学ぶ、恵庭起業塾についてであります。これまで48名の参加のもと5回開催されました。また起業に関しては市に設置したワンストップ窓口の相談件数が28件、起業支援事業補助金が14件、起業家育成資金融資が2件となっており、昨年度より実績が増加しております。

さらに、起業を希望する方や起業後間もない方に対するフォローアップとしまして、新たにRBパーク内に低価格で利用できる「シェアオフィス」が開設されたことから、利用促進のほか、各種支援制度の紹介や仲間づくりなど、きめ細かな支援を行って参ります。

冬のイベントについて

次に、冬のイベントについて申し上げます。

2月2日、3日の2日間、「第8回えにわ犬ぞり大会」が、えこりん村で開催され、「えにわマルシェ」からは10店が出店し、会場一体の賑わ

いの中、両日合わせ市内外から約4,000人の来場がありました。

また、2月2日から10日まで、12回目となる「えにわシーニックナイト2019」が開催され、市内17会場が約1万5,000個のロウソクを使ったアイスクャンドルやスノーランタンで彩られました。

2月9日には、今年で最後となる「第36回えにわ雪んこまつり」がルルマップ自然公園ふれらんどで開催され、親子連れを中心に約1,800人の来場があり、盛大なフィナーレとなりました。

恵庭ふるさと公園
ワークショップに
ついて

次に、恵庭ふるさと公園ワークショップについて申し上げます。

昨年度、策定いたしました「恵庭ふるさと公園再整備基本計画」で掲げた基本方針の実現に向け、地元町内会や大学等にもご協力いただき、市民参加によるワークショップを4回開催いたしました。

ワークショップでは、既存樹木の整理や施設整備の配置、市民協働の管理・運営についてご意見をいただいたところであります。

今後は、これらの意見を参考にしながら、再整備事業を進めて参ります。

恵庭下水終末処理
場バイオガス発電
事業について

次に、恵庭下水終末処理場バイオガス発電事業について申し上げます。

かねてより進めております再生可能エネルギーの固定価格買取制度を利用した、民設民営のバイオガス発電事業についてであります。プロポーザル方式により選定いたしました優先交渉権者である民間事業者と本市の間において、先に基本協定を締結し、協議を進めて参りましたが、その後全ての手続が整い、昨年11月13日に事業契約を締結いたしました。

今後は、本年9月より施設の工事に着手し、2020年4月からの発電開始を目指して、引き続き民間事業者と連携して事業の推進に努めて参ります。

消防署南出張所の
高規格救急自動車
整備について

次に、消防署南出張所の高規格救急自動車整備について申し上げます。
昨年4月から、消防署南出張所に非常用救急自動車を配置して、救急業務を実施していましたが、感染症防止等を装備した新規車両を整備し、昨年12月28日から運用いたしました。
今後も、消防救急体制の充実を図り、市民の安全・安心の確保に努めて参ります。

以上、第4回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。